主催者からのお願い

≪競技規則が一部変更になりまた≫　ご確認ください

https://www.masters-swim.or.jp/pdf/about/2023_rule_changes.pdf

■（一社）日本マスターズ水泳協会競泳競技規則（抜粋）（カッコ内：競技規則条項）

（1）出発について（背泳ぎを除く）

a. 自由形・平泳ぎ・バタフライおよび個人メドレーのスタートは、スタート台・プールデッキおよび水中のいずれからでもできる。（第 4 条 1 項）

b. 審判長の長いホイッスルによりスタート台またはプールデッキに上がった競技者は、スタート台前方またはプールデッキ前縁に少なくとも一方の足の指を掛けなくてはならない。（第 4 条 1 項）

c. 水中からスタートする競技者は、審判長の長いホイッスルにより速やかにプールに入り、少なくとも一方の手でスターティンググリップを持ち両足をプールの壁に付ける。（第 4 条 1 項）

d. 出発合図の前にスタートの動作を開始した競技者は失格となる。（第 4 条 3 項）

（2）自由形について

競技中は泳者の体の一部が常に水面上に出ていなければならない。折り返しの間、スタート後・折り返し後の壁から 15m以内の距離では体が完全に水没してもよいが、壁から 15m地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。（第 5 条 3 項）

（3）背泳ぎについて

バックストロークレッジを使用する場合は、両足のつま先の少なくともそれぞれ一本はタッチ板に接していなければならない。（第 6 条 1 項）

（4）平泳ぎについて

a. 両腕の動作は、同時に行われなければならず、交互に動かしてはならない。（第 7 条 2 項）

b. 両脚の動作は、同時でなければならず、交互に動かしてはならない。（第 7 条 4 項）

（5）バタフライについて

a. 全ての足の上下動作は同時に行われなければならない。両脚・両足は同じ高さになる必要はないが、交互に動かしてはならない。一かきに一回の平泳ぎの足の蹴りは許される。折り返しおよびゴールタッチの直前は、一かきを行わずに一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。また、スタートおよび折り返し後の一かき目の前も、一回の平泳ぎの足の蹴りが許される。（第 8 条 3 項）

b. 泳者はスタートおよび折り返し後は、水面に浮き上がるため、水中での数回の蹴りと後方への一かきが許される。スタート後、折り返しの後、体は完全に水没していてもよいが、壁から 15mの地点までに、頭は水面上に出ていなければならない。また、次の折り返しあるいはゴールまで体は水面上に出ていなければならない。（第 8 条 5 項）

（6）メドレー競技について

個人メドレーでは、自由形の際に壁から足が離れたときはあおむけの状態であってもよいが、うつぶせの状態になるまでは、バタフライの蹴りも含めていかなる足の蹴りも行ってはならない。（第 9 条 1 項）

（7）競技終了後の退水について

泳者は、他の泳者が競技中であっても審判長に退水を指示されるまでは、自レーンの中にとどまってもよい。退水の際に、他の泳者が競技中であっても審判長の指示があった場合、他のレーンを横断することができる。ただし、指示に従わず他の泳者を妨害した場合は、失格となる。また、その他の妨害行為をした場合も失格となる。（第 10 条 9 項）

（8）リレー競技の第 1 泳者の記録について

4×25mのリレー競技を除き、リレー競技の第 1 泳者の記録は新記録に申請することができる。（第 13 条 5 項）

（9）水着の規定について

競技会で着用できる水着等は、競技会開催日に本協会が公表している水着規定に準じる。（第 15 条 1 項）

【競技上の注意】

１　競技は、一般社団法人日本マスターズ水泳協会競技規則にのっとり実施します。

２　年齢は、暦年齢（２０２３年１２月３１日現在の年齢）とします。

３　競技は、全て男女別・年齢区分別のタイムレース決勝とします。

４　個人種目及びリレー種目は、エントリーに従い男女別・年齢区分別に組み分けを行い、高年齢から低年齢へ遅い組から速い組への順で行います。但し、競技進行上の理由により、一部複数の年齢区分で組み分けを行う場合もあります。

５　エントリータイムは申込み時に申告されていますが競技進行を速やかに行う上で、明らかに１分以上申告タイムが違う場合は、訂正用紙に記入の上本部席へ提出してください。

６　受　付

チーム受付は、各チームの代表者が行ってください。チームにまとめて参加賞・プログラムをお渡しします。

７　チームリーダーミーティング

８：２０～　役員通路にて行います。

競技上の注意事項など変更がある場合は、この折に連絡します。必ずチームの代表者または代理の方が出席し、連絡事項を出場選手全員に伝えてください。

８ 招　　集

招集は、自分の出場する６レース前、２５m種目は、１０レース前までにプールサイドの招集所に自己申告し、チェックを受けてください。プール以外では、競技進行がわかりませんので、競技状況を確認の上、招集に遅れないようご注意ください。遅れると棄権扱いとなります。リレー種目に出場の選手は必ず４名そろって招集所へお越しください。

招集受け付けを済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。

※　競技の進行をご確認の上、招集遅れのないようにご注意ください。

※　最初の種目は開会式終了後(ＴＨＥリレー終了後)より招集を開始します。

注）必ず自分の組・レーンをご確認の上招集所へお越しください。組・レーンを間違えて泳ぐと失格となります。

※よくある間違い・・・

自分の前の組で同じレーンの選手が棄権していた場合、招集又はレーンの後ろに並ぶ際、前につめてしまう方がいます。必ず泳ぐ前に同じ組で泳ぐ選手を確認しておくなど間違いがないようにご自身で確認してください。（特に２５m・５０mは間違う方が多いのでご注意ください）

①　リレー種目では、招集所で出場者４名揃わないと招集受付できません。４名揃ったら、泳ぐ順に各人が自己申告し、招集受付をしてください。

②　招集受付を済ませないといかなる理由であれ棄権となり出場ができません。

＜よくある間違い＞

自分の前の組で同じレーンの選手が棄権していた場合、招集又はレーンの後ろに並ぶ際、前につめてしまう方がいます。必ず泳ぐ前に同じ組で泳ぐ選手を確認しておくなど間違いがないようにご自身で確認してください。（特に２５m・５０mは間違う方が多いのでご注意ください）

９ スタート／プールからの退水について（スタートの号令が変わります）

＜スタート＞

本会場では出発合図の掛け声を、日本水泳連盟の変更及び国際大会に合わせ、「Take your marks（テーク・ユア・マーク）」と英語で号令します。公式スタート練習などで事前に確認していただきますようお願いします。

①　スタートは、２５m 種目を除きオーバー・ザ・トップ方式で行います。

②　マスターズ水泳のスタートは、１．スタート台上、２．プールデッキ、３．水中からのスタートが許されています。はじめて競技に出場する選手や飛び込みの練習をしていない選手は、安全面の観点から、プールデッキや水中からのスタートをお勧めします。

③　前の組がスタートしたら直ちにスタート台の後ろに並び、計時員にご自分の名前を伝えレーンを確認し

てください。違う組・レーンで泳ぐと失格となります。（２５m種目はご自身で確認してください）

④　メインプールでの水浴びは禁止です。水浴びはプールサイドに「水浴び用バケツ」を用意していますので、そちらを利用してください。

⑤　公式スタート練習は、８：４５～９：０５までメインプール全レーン（第１レーンは背泳ぎ専用）で行います。変更がある場合は当日通告より発表します。

⑥　スタートが初心者の方はコーチの指導の下にお願いします。安全面で問題があると判断した際は中止する場合もあります。深く飛び込むことのないようお願いします。
尚、公式スタート練習は、スタート規則の確認であり、飛び込み練習ではありません。

＜ プールからの退水方法 ＞

①　他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないように注意し、横から退水します。

②　退水は、２５m種目を除きレーンロープにつかまり水中で待機して、次の組がスタートしたら競技役員の指示に従い、横へ移動（２～４レーンの泳者は１レーン横、５～６レーンの泳者は７レーン横）してください。

③　２５m種目はゴールタッチ後、すぐに次の組がスタートします。タッチ板に触れることのないよう競技役員の指示に従い、速やかに横へ移動し退水してください

下記の点を特に留意していただくようお願いします。

スタート時の注意

《自由形・平泳ぎ・バタフライの場合》

ⅰ.審判長の“短い笛の合図”で準備をし、スタート台後方で次の笛の合図を待つ。

ⅱ.次に審判長の“長い笛の合図”でスタート台へ上がり、足の指をかけて静止する。

《背泳ぎの場合》

ⅰ.審判長の“短い笛の合図”で準備をし、スタート台後方で次の笛の合図を待つ。

ⅱ.次に審判長の“長い笛の合図”によって、速やかにプールに入る

ⅲ.２回目の“長い笛の合図”によって、むやみに遅らせることなくスタートの位置につく。

☆ 泳ぐ前に、必ず自分の組とレーンが正しいか確認してください。

☆ 出発合図の前にスタートすると失格となります。

☆ 違う組・レーンで泳ぐと失格となりますのでご注意ください。

１０ リレー種目

①　リレーオーダー用紙は、所定の用紙に必要事項を全て記入の上、締め切り時間までに本部記録席へご提出ください。提出のない場合は出場できません。

②　変更は１度のみとなります。エントリータイム及び年齢区分の変更はできません。

③　同一リレー種目には、年齢区分に関わらず一人１回しか出場できません。

④　リレーオーダー提出後の泳者および泳者の順序の変更は認めません。

⑤　オーダー変更の際、個人種目に出場している方以外の出場は出来ません。

⑥　棄権する場合は棄権用紙に必要事項を記入の上、本部記録席へ提出してください。

⑦　リレーの第２泳者以降で水中からスタートを希望される方は必ず審判長への許可が必要です。許可なく水中からスタートした場合は、失格となる場合がありますので、予めご承知置きください。
尚、世界記録に挑戦するリレーチームは World Aquatics のルールが適用される為、第２泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録は認められません。

１１ 表　　彰

①　出場選手全員に参加賞を授与します。

②　公認された記録は、（一社）日本マスターズ水泳協会ホームページより「公認記録証」として印刷できます。詳細は、協会ホームページでご確認ください。（一社）日本マスターズ水泳協会公認記録証を授与します。

③　個人種目、各種目の年齢区分の上位３位までに賞状を授与します。各自、表彰所のチーム BOX より チームリーダーがお受け取りください。賞状の受け取りは大会開催日のみとなります。

④　マスターズ日本記録を突破した選手を表彰し日本新記録樹立証を授与します。（閉会式で表彰します）

⑤　マスターズ世界記録を突破した選手を表彰し世界記録突破証を授与します。（閉会式で表彰します）

⑥　チーム代表者の方が、出場者の賞状を代わりに受け取ることができます。

⑦　各種目年齢区分を問わず、エントリータイムに一番近いタイムで泳いだ男女各１名に「ピッタリ賞」と

して賞品が授与されます。必ず当日お持ち帰りください。お渡しは当日限りとさせていただきます。タイム差が同じである場合、年齢の高い方が優先となります。

１２ 日本記録（リレー第１泳者）・世界記録申請（リレー第１泳者含む）および日本記録・世界記録該当者の着用水着について

世界記録の達成が予想される選手およびチームは、出場するレースの１時間前までに規定用紙に必要事項を記入の上、インフォメーションデスクへ申告してください。国際水泳連盟（World Aquatics）が認定している世界記録を突破した場合、その記録を World Aquatics へ世界記録としての公認を申請します。必ず申告を忘れないようにしてください。また世界記録を達成された場合、泳者の生年月日を証明する「パスポートのコピーまたは、住民票のコピー（３ヶ月以内のもの）」が必要となりますのでご準備ください。
世界記録の World Aquatics への申請には World Aquatics 承認水着の着用確認が必要です。
世界記録を出す可能性がある選手は World Aquatics 承認マーク付き水着の着用をお願いします。競技終了後、水着着用の写真を撮影させていただきます。また世界記録申請用紙ご記入の際、水着のメーカー及び承認番号を記載してください。
日本記録に関しては、レース前及びレース終了後 World Aquatics 承認水着の確認をします。承認水着を着用していない選手の記録は新記録としては認められませんので予めご承知置きください。
リレー種目（４×２５ｍを除く）の第１泳者の新記録の申請が可能になりました。個人種目と同様に世界記録・日本記録に挑戦される選手は必ず申告を行ってください。

１３ 水着等について

① 水着は、１着しか着用することができない。ただし、水泳用インナーショーツ（サポーター）などのモディスティースーツ（不適切な露出を避けることを目的とした水着）、女性用インナーパット（カップ）などの使用は認める。
② 水着の形状は、男性はへそを超えず膝までが身体を覆う範囲のもの、女性は肩から膝まで（ただし首、肩を覆わないもの）が身体を覆う範囲のものとする。
③ 素材は、繊維（小さなパネルは認める）のみとする。
④ 世界記録・日本記録は、World Aquatics が許可した有効な水着を着用した競技者のみが樹立できる。

※水着改正についての詳細は、（一社）日本マスターズ水泳協会ホームページをご覧ください。

１４ 異議申し立て

＜ 申告 ＞

以下に該当する方は、出場種目開始予定時間の 1 時間前までにリゾリューションデスクへ申告ください。お申し込み時に申告された方で当日再確認の連絡を受けている方もリゾリューションデスクへお越しください。

（1）テープ等をされる方
提出書類：出場申告用紙 ＜審判長の確認が必要です＞
※ 競技規則上、テープ等は認められません。
※ ケガによって必要な場合、1 本または 2 本の手の指、足の指にテーピングをすることは認められます。使用が必要である場合、使用状況を確認しますので、実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態でリゾリューションデスクへお越しください。審判長の承認がなければ、身体上のいかなるテープも許されません。（筋肉を補強するテープ等は許可できません）。

（2）障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
提出書類：出場申告用紙 ＜審判長の確認が必要です＞
※ 申告内容を確認し、許可の判断を行います。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

（3）出場に介助が必要な方
提出書類：出場申告用紙
※ チームにて介助者の対応をしてください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し介助してください。

（4）リレーの第 2 泳者以降が水中からスタートするチーム
提出書類：出場申告用紙
※ 申告がなく水中からスタートした場合は失格となります。
※ 世界記録に挑戦するチームの第 2 泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界新記録の公認はされません。挑戦するチームの第 2 泳者以降は、台上またはプールデッキからスタートしてください。

（5）世界記録挑戦時にレース中の挑戦コールを希望する方
提出書類：世界記録申請用紙

＜抗議について＞

次の場合、競技に関する抗議ができます。

① 規則や競技会における規定が、順守されていなかった場合。
② 発生事象が、競技会の主催者や他の競技者によって引き起こされた場合。
③ 審判長の判断に納得できない場合。ただし、明らかな事実に対する抗議は認められない。

抗議は、抗議書を提出しなければなりません。抗議書の提出は、日本マスターズ水泳協会へ登録しているチーム責任者が行ってください。チーム責任者以外は抗議できません。
競技開始前にあらかじめ予見される事項についての抗議は、審判長の競技開始の合図が発せられる前までに提出してください。
競技の失格内容や状況等についての抗議は、ランキング発表後 30 分以内に抗議書に内容を記入し、抗議料として預かり金 10,000 円を添えてリゾリューションデスクに提出してください。
提出された抗議書は審判長が検討し、抗議を棄却した場合は、審判長が口頭で説明します。
審判長の下した判断に不服がある場合は、大会総務に申し立てをすることができます。
審判長の判断に異議がない場合、預かり金は、主催団体に徴収されます。
大会総務は、抗議書の内容を踏まえて、関係した担当者等から聞き取りをした上で最終的な裁定を行います。
大会総務が下した裁定は、最終のものとなり、裁定結果はチーム責任者に対して説明されます。
抗議が受理された場合、従前の審判長判断は取り消され、預かり金は返却されます。抗議が棄却された場合、預かり金は主催団体に徴収されます。

大会総務において裁定された結果は最終的な裁定である為、異議は認められません。

１５ 貴重品の管理について(チームに１つ)

貴重品は、個人またはチームで管理してください。盗難等がございましても一切責任は負えません。
貴重品ロッカーとして、チームに１つ貴重品管理用としてロッカーキーを１つお渡しします。ロッカーカードは帰りに必ずご返却ください。

１６ 選　手　席

選手席は予めチームを指定していますので、そちらをご利用ください。プールサイド選手席での飲食はできません。

１７ 更衣室およびプールサイドへの導線

更衣室のロッカーは使用禁止です。不正使用しロッカーが開かなくなった場合、大会終了後に対応します。ご了承ください。
プールサイドへは男女それぞれの更衣室から進んでください。
プールサイドは土足厳禁の為、履物はプール入場の際、各自袋に入れてご利用ください。

１８ カメラ・ビデオ・携帯電話等での撮影許可について

メインプール側でのフラッシュを使ったり競技に妨げになるような写真撮影は出来ません。
不審者を見かけた場合は、大会本部へご連絡ください。また、不審者と思われるような撮影をされる方は撮影の許可はできませんので予めご承知おきください。

１９ 会場内での撮影について

競技会において、参加選手または関係者等が私的に撮影した動画や画像をＹｏｕＴｕｂｅ等のＷＥＢサイトやその他の公な場所に公開するためには、必ず各権利者の許諾を公開者が受けるようお願いします。また、会場ＢＧＭをそのまま使用すると著作権の侵害となりますので注意してください。
なお、撮影許可証は会場内での撮影を許可するものであり、これらの権利を許諾するものではありません。

【申告が必要な場合について】

大会参加にあたって、以下の項目に該当する方は出場種目開始予定時間１時間前までにインフォメーションデスクへ申告してください。
『出場申告用紙』が必要な申告

① テープ等をされる方
　※ 本来テープ等は認められませんが、やむを得ず使用の承認を受ける必要のある方は使用状況を確認します。実際に泳ぐ際のテーピングを施した状態で確認を受けてください。
　※ 指や関節を固定するテーピング、筋肉を補強するキネシオテープ等は基本的に許可できません。
② 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある方
　※ 申告内容を確認し、許可の判断を行う。なお、診断書や障がい者手帳の提示を求める場合があります。

③　出場に介助が必要な方
※ チームから介助者を帯同してください。その際、介助者は招集席からスタート席まで付くことはできますが、スタートの介助はできません（一緒に水中に入ることは不可）。ゴール後は競技役員の指示を優先し、介助してください。

④　リレーの第２泳者以降が水中からスタートするチーム
※ 世界記録に挑戦するチームの第２泳者以降が水中からスタートした場合、世界記録を突破しても世界記録の公認はされません。詳細は【１０ リレー種目　⑦】を確認してください。

『世界記録申請用紙』が必要な申告

⑤　世界記録に挑戦する方およびチーム
【１２ 日本記録（リレー第１泳者）・世界記録申請（リレー第１泳者含む）および日本記録・世界記録該当者の着用水着について】を確認してください。
※ リレー種目の第１泳者として挑戦する方は必ず申告してください。

【施設上の注意】

①　更衣室内ロッカーは使用できません。
②　食事は日光浴場および観覧席をご利用ください。
③　貴重品は各自又はチームで保管してください。盗難等がございましても一切責任は負えません
④　ごみは各チームで持ち帰ってください。必ずごみ袋をご持参ください。
⑤　プールサイド・更衣室は土足禁止です。上履きをご用意いただくか素足でご利用ください。　（サンダルは滑りますので素足又はシューズ(上履き)をご利用いただくことをお勧めします）更衣室内は、素足でご利用ください。
⑥　館内での喫煙は禁止です。
⑦　プールサイド・更衣室以外での水着姿での利用は禁止となります。
⑧　車でのご来場は近隣の方のご迷惑となるため、禁止します。
⑨　プログラムの印刷ミス等の訂正は、速やかに本部席へチームのコーチがまとめてご提出ください。
⑩　大会終了後、記録の申請を協会へ行いますが、個人申込書等の規定用紙に個人 ID や年齢の記入間違いがあった場合、記録は公認されません。
⑪　リレーオーダー変更用紙・棄権の申し出用紙は、チームでコピーして当日ご持参ください。
⑫　その他施設は、他の団体が使用されています。マスターズ関係者は立ち入り禁止となります。

【その他】

①　大会期間中は忘れ物のないように注意してください。忘れ物は表彰所にて保管していますが、大会終了後１週間で廃棄処分します。
②　私的営業活動の停止
大会会場内にて、主催者の許可なく営利活動や販促物等の配布、集客活動等を行うことは禁止します。
③　不可抗力による中止の際の対応
大会当日、社会情勢ならびに天変地異の不可抗力により中止になった場合は、「参加賞」「プログラム」はチームへお渡ししますが、エントリー料は返金できません。
④　リレーオーダー変更用紙・棄権の申し出用紙は、コピーしてご利用ください
⑤　当日の棄権者はチームでまとめて棄権申し出用紙に記入の上、本部記録席に提出してください。
⑥　大会当日天変地異の為、大会が中止となった場合も返金はできかねますので予めご了承ください。

【健　康　管　理】

①　大会中の健康管理は、本人の責任とし、ご自分の体調には十分留意してください。
②　会場内でけがや体調不良になられた場合は、救護係にて応急処置のみ行います。救護係の判断により、病院での診断を勧められたり、救急車などで緊急病院に搬送された場合、その治療費は全て個人の負担となります。
③　当日ご自分の体調に不安を感じたら棄権してください。また、仲間の方も棄権を勧めてください。特にリレー種目では１人の選手が体調不良の場合、仲間が棄権を勧めることが大切です。
④　大会中、大会医務委員により出場停止の勧告がされた場合は、その指示に従ってください。
⑤　事故予防標語「マスターズ　キーワード９」を選手へ徹底してください。
万一に備え、保険証のコピーをご持参ください。

【個人情報の取り扱いについて】

大会にあたり取得した個人情報ならびに肖像の取り扱いについては、以下のとおりです。

① ＜個人情報＞
- プログラム作成を含む競技会運営に使用します。
- 競技結果としてホームページ等の媒体に掲載します。

② ＜肖像＞
- 大会報告としてホームページ等の媒体に使用します。
- 以降マスターズ水泳の普及活動のために使用します。
- 大会主催者が定めた撮影者によって撮影されたすべての映像は（一社）日本マスターズ水泳協会に帰属します。

■ 個人情報の取り扱いについて

大会に参加いただく際に円滑な事務作業を推進するためにチーム情報ならびに個人情報をご提供いただいております。お預かりした情報は適切かつ慎重に管理し、紛失・漏洩がないよう努め、今大会の大会運営と大会記録管理に関する業務に利用します。また、大会プログラム作成・ランキング作成及び発送業務を下記会社に委託しております。そのため、大会記録および登録データを通知しますが、それ以外の目的で利用することはありません。また、不要になったチームおよび個人情報書類は責任を持って破棄いたします。

委託会社：有限会社東洋電子システム

出場される種目のヒートシート（組・レーン）＆リザルトは下記 URL でご確認ください☆

https://stgmasters.ksc-kk.com/competition.html